

翌 檜 新 聞



志 寔 録

第2号
2019.2.4
第73代
伊敷中学生徒会



ようこそ伊敷中へ

伊敷中ってどんなところ？

入学説明会

1月18日(金)午後、伊敷中で入学説明会が行われました。来年度入学する予定の小学生230名が来校しました。この入学説明会



伊敷中の良さを伝えるイシキングとイシキーズ

は毎年中学校の雰囲気を感じたり、伊敷中について知ってもらったりするために行われます。

説明会では、生徒会役員によるソシオドラマがあり伊敷中について紹介しました。毎年おなじみの「志・

寛・錬」「門礼・黙想・朝作業」の「イシキーズ」の6人を中心に流行りの「USA」の替え歌や新キヤラクターで伊敷王国の王を名乗る「イシキング」が登場しました。三大伝統だけでなく無言作業や無言移動などさらに深く伊敷中について紹介しました。初めは緊張していた6年生もだんだんと笑顔が増えた様子でした。

入学説明会に参加した玉江小学校6年1組の安藤久暁君は「伊敷中についてよくわかった。最初はとても緊張したが、だんだんほぐれて1日楽しかった。」と話していました。

もうすぐ私たちも学年があがります。先輩として恥ずかしくないようにこれからも頑張りたいです。(安藤 久暁)

中学校の授業を体験

説明会の前、6年生は、30分間体験授業を受けました。生徒会役員や部活動生は6年生をサポートしながら、自分たちが体験授業を受けたときのことを懐かしく思い出している様子でした。みなさんは、どの教科を体験したか覚えてますか。



6年生をサポートする生徒会役員

読書祭り開催

11月の読書月間の活動の一環として今年も恒例の読書祭りが行われました。今回の読書祭りでは、1、2年生の図書班班長さんによる読み聞かせも実施しました。大勢の前で初めて読み聞かせをするという班長さん

もいましたが、堂々とそして丁寧に読み聞かせすることができていました。2年生班長さんによる読み聞かせを鑑賞した2年3組の長倉悠真くんは、「クオリティーの高さに驚いたみんな忙しいのに、いつ練習したのか気になる。」と感想を述べていました。新しい本も増えて、図書

3年生にエールを送る

入試激励会

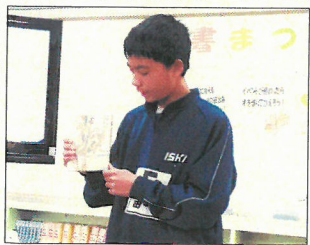
12月18日(火)全校朝会で入試激励会がありました。3年生にエールを送るため、1、2年生からは代表員のみなさんを中心に練習した群読と、熱い思いが込められた色紙が送られました。1、2年生からの応援を受けた3年4組の橋野光さんは「色紙はそれぞれのデザインが工夫されていた。

メッセージを読んで頑張ろうと思った。」と話していました。また、群読について3年6組の大園涼乃さんは「本当に嬉しかった。応援に込められるよう頑張りたい。」と感想を述べていました。3年生のみなさん、たくさんの人たちの応援を胸に受験という大きな壁を乗り越えてください。(牟禮 こと)



翌檜コンセプト 気づきを伝える新聞

第73代翌檜新聞のコンセプトは「気づきを伝える新聞」です。みなさんは伊敷中学校の良さに気付いていますか。伊敷中には良いところがいっぱいあります。私たちが気付いていないことも多いのです。そのような気づきを翌檜新聞を通して伝えていけたらと思います。みなさんの気づきを翌檜部に教えていただけるとさらに良い新聞になっていくので、御協力よろしくお願いします。(久保田妃南・池田華恋)



本の紹介をする班長

皆さんは、「フィリピン」という国を知っていますか。北欧にあるこの国は世界有数の「分別大国」として知られています。色分けされたゴミ箱にゴミが分別され、リサイクルされています。リサイクルに対する考え方は下水までおよび、浄化された下水で作られたビールもある程です。国全体でこれだけの分別ができるということがすごいと思います。なぜこれほどまでのことができるのか...それは分別をさせられているのではなく、自分たちで取り組まなければならぬということを一一人が考えているからなのではないかと思えます。なぜ自分たちは分別に取り組んでいるのか。きっとこの「なぜ」を考えるところが大事なのだと思うのです。私たちがどうでしょうか。学校生活の様々な活動がただこなすだけになっていませんか。なぜ、この活動があるのか。この活動には何の目的があるのか。一つ一つの活動には目的があるはず。何も考えずに門札をするのか。目的を知ってその行動は変わってきます。その本質を知ること、より充実した学校生活を送ることができればと思います。(芹ヶ野愛梨)

特集 きれいな学校を極めろ！美化部からの気付き

伊敷中はきれいな学校だと来校した方から言われます。学校がきれいだということはきれいな学校を目指して行動している人がいるからです。みなさんはどうですか。きれいな学校を極めるために、どんなことを意識したらよいのかという「気付き」をこれから紹介していきます。

膝付き雑巾掛け

まず第一回目である今回は「膝付き雑巾掛け」です。皆さんは丁寧に雑巾掛けをすることができていますか。まずは、膝付き雑巾掛けをおさらいしましょう。ポイントを右に挙げました。

- 一 三つ挙げられます。
- 二 膝をつけて低い目線で雑巾掛けをすることで、汚れに気付きやすくなる。
- 三 丁寧に雑巾掛けをする時間は、自分自身を見つめ直す時間となる。雑巾掛けをしながら、雑巾の感触、汚れの落ち具合に気持ちよくなること、今、自分が

ポイント1 膝をつく



1 膝付き雑巾掛けというくらいですから、もちろん膝をつけて行きます。膝をつくと、目線が低くなり、汚れに気付きやすくなり、丁寧に雑巾を掛けることができます。

ポイント3 手を変えて回転



ポイント2 左右に動かして

2 自分の両手の幅で、左右に雑巾を動かし、床の汚れを拭き取っていきます。横にまっすぐに手を動かし、拭き残しがないようにしましょう。



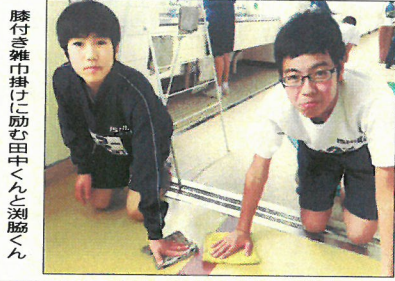
3 雑巾が端まできたら、手の向きを変えて、雑巾を回転させて動かします。そうすることで、雑巾をまっすぐに動かすことができ、壁際の汚れまで綺麗に取ることができます。

していることが小さなことでも喜びや達成感を得ることができる。

皆さんはどんな気持ちで雑巾掛けをしているのでしょうか。今の季節は気温が低く、水に濡れた雑巾を手にするのもつらいと感じることもありますが、一生懸命雑巾掛けをした後、清々しい気持ちになることがあるのではないのでしょうか。

それぞの掃除場所での雑巾の担当の人たちが冷たい雑巾を持ち、雑巾掛けを頑張ってくれています。理科室前の廊下の雑巾を担当している三年二組の田中大雅くんもそのうちの一人です。二人が並んで、丁寧に膝付き雑巾掛けをする姿は、とても清々しい雰囲気をつくっています。どのような気持ちで雑巾掛けをしていくのでしょうか。

田中大雅くんは膝付き雑巾掛けに励む中さんと淵脇くん



FACE

今回のFACEはいつも楽しく英語を教えてくださいださるALTのサクソン先生とトニー先生。2人に3つの質問をしました。

(亀田周杜・吉住月那)

Q1 なぜ英語を教えようと思ったのか。

Q2 鹿児島島の料理で好きなもの。

Q3 伊敷中の生徒に一言。



Saxon 先生

雑巾掛けをしているときの気持ちについて「ごみを隅々まで取ることでみんながいい気持ちになってくれると思います。そして、自分も心がきれいになってる感じがします。学校をきれいにすることで、自分の心もきれいになります。だから、全校生徒で日々掃除を頑張っていけたらと思います。」と語ってくれました。また、三年生の田中大雅くんは膝付き雑巾掛けの仕事を教わった淵脇裕樹くんは「全校生徒で心を込めて掃除ができたと思います。雑巾掛けにも心を込めていきましょう。」と全校生徒へのメッセージを述べていました。

毎日の掃除をただの作業とするのではなく、学校のため、自分のためと心を込めて掃除をする意



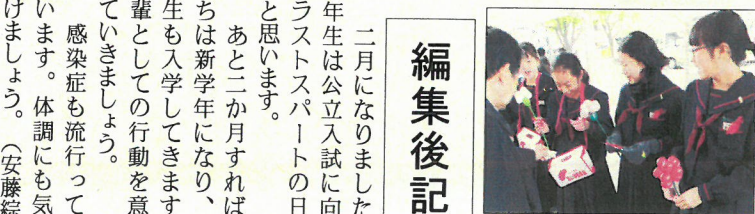
Tony 先生

A1 日本が好きで日本の子供たちに教えたかったから。
A2 焼肉
A3 伊敷中の生徒が大好きです。

A1 日本で英語を教えたくてJETプロジェクトというのに参加したから。
A2 黒豚ラーメン
A3 失敗を恐れなくて、たくさんの失敗から学んでね。安全で簡単なことばかりしていると人生で幸せにはなれませんよ。

たくさんの優しい集まる

12月9日(日)、鹿児島中央駅前赤い羽根共同募金が行われました。伊敷中学校からは生徒会役員が参加し、生徒会役員の呼び掛けに応じ、たくさんの方が募金に協力してくださいました。



募金活動をする生徒会役員

編集後記

二月になりました。3年生は公立入試に向けてラストスパートの日々だと思っています。あと二か月すれば私たちは新学年になります。先輩としての行動を意識していきます。感染症も流行ってきています。体調にも気を付けましょう。(安藤綜悟)